



# アクタラ<sup>®</sup>

## 粒剤5

アクタラなら、  
作物の植付け前の一回処理で、  
きちんと苗を守ります。

アブラムシを最初にたたく。  
コナガ、マメハモグリバエから守る。



長野県木曾郡木祖村のはくさい農家・笛川 高広さんはくさい専業農家として親子で3haの畑を経営。栽培品種は晚抽大福をはじめ4品種におよぶ。

作物と  
害虫の

適用範囲が広い。(アブラムシへの安定した効果と  
長い残効性があり、  
幅広い害虫を同時防除。)

適用害虫



アカアブラムシ



ナモグリバエ



コナガ



マメハモグリバエ

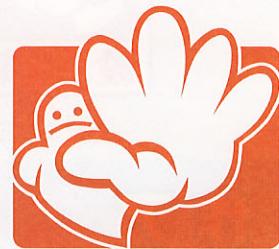


④はシンジェンタ社の登録商標

農薬をご使用の際は、ご購入先、または当社ホームページなどで最新の登録内容をご確認下さい。

## アクタラ粒剤5なら…

- 植付け前の一回処理で、さまざまな害虫から約1ヶ月間、大切な苗を守ります。
- 薬害の恐れが少なく、作物に安心して使えます。
- 作物からの吸収が効率的で、効果が安定。
- 普通物なので取り扱いやすく、人にも環境にも安心です。



### 適用拡大 適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 トマトハモグリバエ	株当り1g	定植時		植穴処理	4回以内 (定植時の植穴処理は1回以内、散布は3回以内)
なす	ミナミキヨアザミウマ、マメハモグリバエ コナジラミ類、アブラムシ類		育苗期後半		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の植穴処理は合計1回以内、散布は3回以内)
トマト	アブラムシ類 ミカンキヨアザミウマ	株当り2g	定植時		植穴処理	
ビーマン	ハモグリバエ類	株当り1~2g			株元散布	
しとう とうがらし類 (しとうを除く)	コナジラミ類	株当り1g	育苗期後半			
カリフラワー	アブラムシ類 アオムシ、コナガ ハイマダラノメイガ	株当り2g 0.5g	定植時		植穴処理	4回以内(定植時の植穴処理は1回以内、散布は3回以内) 1回
ブロッコリー		株当り2g	育苗期後半		株元散布	4回以内(育苗期の株元散布は1回以内、散布は3回以内)
キャベツ	アブラムシ類 アブラムシ類、ハイマダラノメイガ ハイマダラノメイガ アオムシ、コナガ	セル成型育苗レイ(30×60cm・ 使用土壤約3~4L)一箱当り30g 株当り1~2g	定植時 育苗期後半		散布	4回以内
はぐさい	コナガ	培土1L当り15g	は種前		株元散布	(粒剤の処理及び水溶剤の灌漑は合計1回以内、 水溶剤及び液剤の散布は合計3回以内)
すいか	アオムシ、コナガ	株当り2g	育苗期後半		植穴処理	4回以内(粒剤の処理及び水溶剤の灌漑は合計1回以内、 床土混和は1回以内)
いちご	コナガ	培土1L当り15g	は種前		株元散布	4回以内(粒剤の処理及び水溶剤の灌漑は合計1回以内、 床土混和は1回以内)
メロン	アオムシ類、ミナミキヨアザミウマ	株当り1g	育苗期後半		床土混和	4回以内(粒剤の処理及び水溶剤の灌漑は合計1回以内、 床土混和は1回以内)
レタス	アブラムシ類、ナモグリバエ	株当り0.5g	は種前		株元散布	3回以内(粒剤の処理は1回以内、 床土混和は1回以内)
リーフレタス	ナモグリバエ	培土1L当り15g	育苗期後半		床土混和	1回
かんしょ	アブラムシ類、ナモグリバエ	株当り0.5g	は種前		株元散布	
さといも	コガネムシ類	6kg/10a	育苗期			
ばれいしょ	アブラムシ類	6~9kg/10a	植付時			
ねぎ	ネギアザミウマ	6kg/10a	は種時			
わけぎ あさつき	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	6~9kg/10a	植付時		作条混和	4回以内(は種時の作条混和は1回以内、 植付後は3回以内) 4回以内(は種時及び植付時の作条混和は合計1回以内、 散布は3回以内)
こまつな	アブラムシ類	6kg/10a	は種時			1回
チンゲンサイ	アブラムシ類 ハモグリバエ類		定植時			
セルリー	ナモグリバエ	株当り2g	鉢上時		土壤混和	2回以内(鉢上時の土壤混和は1回以内、 定植時の植穴処理は1回以内)
かんきつ(苗木)	ミカンハモグリガ コナカイガラムシ類、ミカンキジラミ	樹当り20g	育苗期		植穴処理	2回以内
れんこん	クワイクビレアブラムシ	6kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	株元散布	3回以内
つつじ類	コガネムシ類、ツツジグランバイ	9kg/10a	生育期		湛水散布	
げききつ	ツツジグランバイ	6~9kg/10a	植付期	1回	株元散布	5回以内
花き類・観葉植物	ミカンキジラミ	樹当り40g	生育期	3回以内	全面土壤混和	
	アブラムシ類	6kg/10a		1回	株元散布	3回以内
						6回以内

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

### ■使用上の注意事項

- ①かんきつに本剤を用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用し、散布後輕く散水してください。なお、本剤を処理してから効果を發揮するまでに2週間程度期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布してください。
  - ②床土混和処理では、薬剤を均一に混和してください。
  - ③床土混和処理では育苗期間中の苗管理において、過度の乾燥後に灌水するなど薬剤が急激に吸収されるような条件では薬害を生ずる恐れがあるので、十分注意してください。
  - ④キャベツのセル成型育苗トレインを使用する場合は、散布後に軽く散水などを行ってください。
  - ⑤れんこんに使用する場合には、湛水状態を保ち、散布後少なくとも7日間は落水、かけ流しはしないでください。
  - ⑥桑に付着する恐れのある地域では使用をさせてください。
  - ⑦ミツバチを放飼している地域では使用しないでください。※
  - ⑧マルハナバチを使用している地域では使用しないでください。※
  - ⑨使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
  - ⑩本剤の使用に当っては、用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
  - ⑪適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、農業改良普及センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
  - ⑫かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
  - ⑬街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に關係のない者が使用区域に立ち入らないように網囲いや立札を立てると等配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
  - ⑭水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用は避けてください。
  - ⑮保管の際には、使い残した薬剤は密閉し、食品と区別し、直射日光が当らない低温な場所に密封して保管してください。
- ※ミツバチ、マルハナバチは株1gを植穴処理後21日目以降は安全に導入できます。

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階  
[ホームページ] <http://www.syngenta.co.jp>